

KIITO:

イタリアデザイン界を代表する建築家による展覧会 「EARTH STATIONS by AMDL CIRCLE ミケーレ・デ・ルッキと未来を共有する建築」開催

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)」では、創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。この取り組みの一環として、次のとおり展覧会を開催いたします。

デザイン・クリエイティブセンター神戸は、ミケーレ・デ・ルッキと彼が主宰する建築スタジオAMDL CIRCLEによるリサーチプロジェクト「EARTH STATIONS」の全容を日本で初めて紹介する展覧会「EARTH STATIONS by AMDL CIRCLE ミケーレ・デ・ルッキと未来を共有する建築」を開催いたします。

イタリア人建築家・ミケーレ・デ・ルッキは、1980年代にデザインムーブメントを巻き起こしたデザイナー集団〈メンフィス (Memphis)〉の主要メンバーとして活動。イタリア国内外にて住宅、産業施設、オフィスや文化施設等の建築プロジェクトやミュージアムのプランニングなどを手掛け、建築・デザインの分野において現在に至るまで常に第一線で活躍し続けています。日本国内では、「ジンス (JINS) デザインプロジェクト」でのコラボレーションや白井屋ホテル (群馬県) のスペシャルルームを手掛けたほか、現在は、神戸のランドマークであった旧六甲山ホテルを《六甲山サイレンスリゾート》として再生する5年間のプロジェクトを主導しています。

「EARTH STATIONS」とは、建築の進化する役割と象徴的な建物の必要性をめぐる考察から生まれた新しい建築のタイポロジーになります。展覧会では、「EARTH STATIONS」を中心に、六甲山サイレンスリゾートや世界各地でのプロジェクトにつながる建築家の思想を模型や映像で紹介するほか、ミケーレ氏がデザインした家具や照明などのプロダクト展示も行い、メンフィスから現在に至る建築家の思索を辿ります。本展を通し、わたしたちのライフスタイルの変化、進化に応える建築やデザインの在り方について考える機会となれば幸いです。



写真上：EARTH STATION 《CROWN station》
写真下：六甲山サイレンスリゾート (完成予想図)

「EARTH STATIONS by AMDL CIRCLE ミケーレ・デ・ルッキと未来を共有する建築」

会期：2022年7月16日 (土) ~8月7日 (日) 11:00~19:00 ※月曜休

観覧料：無料

会場：デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)

主催：デザイン・クリエイティブセンター神戸 企画：AMDL CIRCLE

協力：空谷一級建築士事務所、株式会社愛知模型コンサルタント、株式会社 徳岡工務店、tanagokoro株式会社

後援：神戸市、イタリア大使館、在大阪イタリア総領事館

協賛：六甲山サイレンスリゾート、八光自動車工業株式会社、株式会社リビング・マーケティング、ALESSI、Alias、Artemide、Caimi、Cassina ixc.、Danese、De Padova、Gebrüder Thonet、JINS、Poltrona Frau、Produzione Privata、UniFor

関連企画「ミケーレ・デ・ルッキ×藤本壮介 トークセッション」

ミケーレ・デ・ルッキ氏から「EARTH STATIONS」や六甲山サイレンスリゾートのこれらについてお聞きすると共に、自然と建築、社会情勢の変化と建築などをテーマに、2025年の日本国際博覧会（大阪・関西万博）の会場デザインプロデューサーを務める建築家・藤本壮介氏とのトークセッションを開催します。

日時：2022年7月18日（月・祝）15:00～17:00

会場：デザイン・クリエイティブセンター神戸 1F KIITO ホール

出演：ミケーレ・デ・ルッキ、藤本壮介

モデレーター：木田隆子（『エル・デコ』ブランドディレクター）

参加費：無料 定員：150名（要申込・申込多数の場合は抽選）

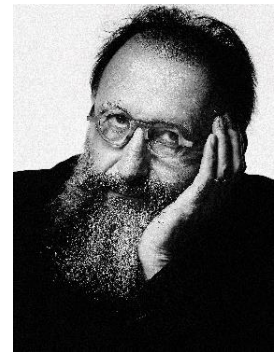
申込：デザイン・クリエイティブセンター神戸 web サイト (<https://kiito.jp/>) にて2022年6月16日（木）10:00から受付開始

作家略歴

ミケーレ・デ・ルッキ (Michele De Lucchi) と AMDL CIRCLE

イタリア北部フェララ生まれ。イタリアのデザイン界を代表する巨匠建築家。デザイン・スタジオ「アルキミア」に参加し、その後一大デザインムーブメントを巻き起こした「メンフィス」のメインメンバーとして活動。

建築家として、住宅、オフィスから工業用建造物、文化施設に至るまで、世界各国の重要な建築プロジェクトに携わる。またこれまでに、エルメスを始めとするヨーロッパのラグジュアリー・ブランドや有名企業の依頼を受け、家具や照明など多くのプロダクトやインテリアのコレクションをデザイン設計し、革新的なデザインを発表し続けている。代表的な作品として、ドイツ銀行ビル、ドイツ鉄道、ENEL（エネルギー会社）、イタリア郵便局、ヘラ（エネルギー会社）、インターザ・サンパオロ銀行、ウニクレディット銀行といったイタリア国内外の民間と政府機関のために、職業環境とコーポレート・アイデンティティを設計デザイン。その他、ミラノのトリエンナーレ美術館やローマのエスポジツィオーニ宮殿、ベルリンのノイエス・ミュージアム、ミラノのガレリア・ディタリアなど美術館や展示システムをデザイン。



© Giovanni Gastel

現在、日本（六甲山サイレンスリゾート）、中国（北京）、ジョージア（トビリシ）、イタリアといった世界各地のラグジュアリー・リゾートの建築、設計デザインに携わり、世界を舞台に大きなプロジェクトに取り組んでいる。2000年にはこれまでの功績を認められ、当時のチャンピ大統領から、イタリア共和国ウフィチエーレ勲章を授与された。2001年ヴェネツィアIAUV大学教授に任命され、2006年にはキングストン大学の名誉学位を授与された。2008年よりミラノ工科大学とローマの国立アカデミア・ディ・サン・ルカの教授に就任し、教鞭をとる。2018年にはイタリアの建築専門誌「ドムス」編集長を務めた。ミケーレ・デ・ルッキは、革新的な建築家たちをサークルにつなぐ Amdl Circle のファウンダーであり、リサーチを重ねた後2018年には、新たな移住空間のコンセプト「アース・ステーションズ」を発表した。

ゲスト略歴

藤本壮介 (Sou Fujimoto)

1971年北海道生まれ。東京大学工学部建築学科卒業後、2000年藤本壮介建築設計事務所を設立。2014年フランス・モンペリエ国際設計競技最優秀賞（ラルブル・プラン）に続き、2015、2017、2018年にもヨーロッパ各国の国際設計競技にて最優秀賞を受賞。国内では、2020年、2025年日本国際博覧会の協会事務局会場デザインプロデューサーに就任。2021年には大分空港海上アクセス旅客ターミナル、飛騨市のCo-Innovation University（仮称）キャンパスの設計者に選定される。主な作品に、ブダペストのHouse of Music（2021年）、マルホンまきあーとテラス 石巻市複合文化施設（2021年）、白井屋ホテル（2020年）、L'Arbre Blanc（2019年）、ロンドンのサーペンタイン・ギャラリー・パビリオン2013（2013年）、House NA（2011年）、武蔵野美術大学 美術館・図書館（2010年）、House N（2008年）等がある。



© David Vintiner

開催に際してのご案内

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催時間や入場時の受付方法が変更となる場合がございます。ご来館前に最新情報をご確認ください。

広報素材に関するご案内

本展広報用画像(6点)をご用意しております。ご希望の方は、コピーライト情報確認のため、必要事項を明記のうえ事前にメール(a.ooizumi@kiito.jp)にてご連絡ください。また、掲載後には掲載誌(紙)、Webサイトリンク、DVD、CD等を広報担当宛てにご提供いただきますよう、ご協力のほどお願い申し上げます。ダウンロードURL：<https://onl.la/DjV14qL>

お問合せ | 展覧会について デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当：大泉 Email:a.ooizumi@kiito.jp

ミケーレ・デ・ルッキに関して 担当：山田美知世 Email：eclipse.milano@gmail.com

住所 | 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4 TEL | 078-325-2235 FAX | 078-325-2230 WEB | <https://kiito.jp/>